

# ロンドンオリンピック視聴時における メディア利用について

編成局編成センター 深田晃司

## はじめに

7月27日から8月12日まで開催されたロンドンオリンピックは、完全デジタル化以降、初めてのオリンピック放送であること、テレビ中継はもとより、ライブストリーミングやTwitter、Facebookといったインターネットサービスが視聴者の間に一定の割合で浸透した時代の放送であることなど、これまでにないメディア環境での開催となったことは周知のとおりである。

それでは、視聴者はロンドンオリンピックの放送をどのように視聴したのであろうか。ふだんから「スマートフォンを利用する人」が19%、「パソコンを利用する人」が56%、「パソコンのインターネットで動画を見る人」が39%<sup>1)</sup>とこれまでとは異なるメディア環境において、メディア利用は、実際のところどのように行われたので

あろうか。また、このようにメディア環境の変化によって、放送に対する意識はどのように変化したのだろうか。こういった問題意識のもと、オリンピックの終了時期にあわせ、電話による全国規模の世論調査を実施したので報告する。

また、新しいインターネットの利用動向や利用者の感想を探るため、インターネット利用者を対象としたウェブ調査も実施したのであわせて紹介する<sup>2)</sup>。

### <電話世論調査の概要>

- ・ 調査時期 2012年8月12日(日)～8月15日(水)
- ・ 調査方法 電話調査(RDD 追跡法)
- ・ 調査相手 全国16歳以上の男女3,090人
- ・ 調査回答数(率) 1,964人(63.6%)
- ・ サンプル構成 表1を参照

表1 有効回答者のサンプル構成

	全体	男	女	男							女						不明 無回答
				16～ 29歳	30代	40代	50代	60代	70歳 以上	16～ 29歳	30代	40代	50代	60代	70歳 以上		
人数	1,964	847	1,117	58	95	130	134	190	202	53	121	152	147	255	326	101	
構成比(%)	100.0	43.1	56.9	3.0	4.8	6.6	6.8	9.7	10.3	2.7	6.2	7.7	7.5	13.0	16.6	5.1	

# 1. ロンドンオリンピックの見られ方

はじめに、今回のロンドンオリンピックがどのように視聴されたかについて電話世論調査の結果からみていく。

## (1) 視聴者の6割以上が

「ほとんど毎日」オリンピック中継を視聴

今回のロンドンオリンピックは、日本との時差がマイナス8時間あり、早朝・深夜の中継が多く、テレビ視聴の条件は、決して良いとは言えなかった。しかし、電話世論調査で「ロンドンオリンピックの中継をどのくらい見たり聴いたり」したかをたずねたところ、週に1日でも「見るか聴くかした」と回答した人は、93%にのぼった(図1)。時差も無く、見やすい時間に中継されていた北京オリンピック(2008年)の際にも、

93%がオリンピックを「見るか聴くかした」と回答しており、視聴条件が悪いにもかかわらず、このような聞き方でたずねると、ロンドンと北京で「見た」人の割合は変わらない(図2)。

次に、男女年層別でみると、どの層でも「見た」と回答した人が9割を超えており、男性では、16-29歳(97%)と50代(98%)、女性では50代(95%)、60代(96%)がそれぞれ高い割合で「見るか聴くかした」と回答している。ただし、男性の16-29歳と50代では、視聴頻度の内訳に違いがみられた。男16-29歳は「2日か3日に1日くらい見るか聴くかした」と回答した人が41%、「ほとんど毎日」と回答した人が40%だったのに対し、男50代では「2日か3日に1日くらい見るか聴くかした」人が19%、「ほとんど毎日」と回答した人が66%と男50代がオリンピック中継を毎日よく見ていたことがわかる。

図1 ロンドンオリンピック中継の視聴頻度(全体と男女年層別)

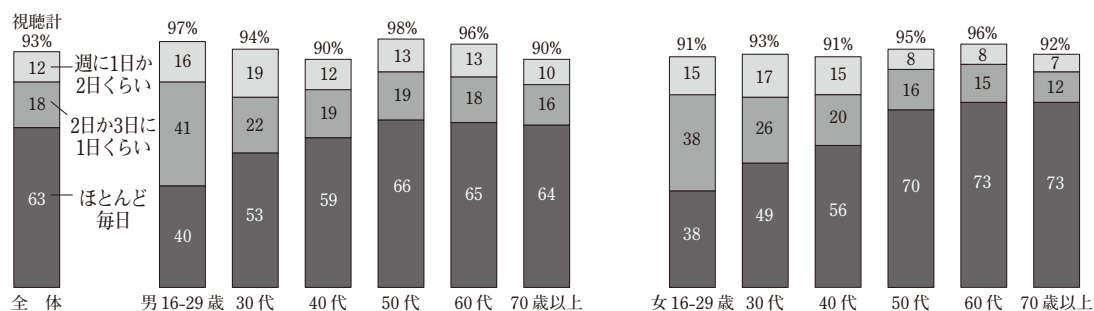
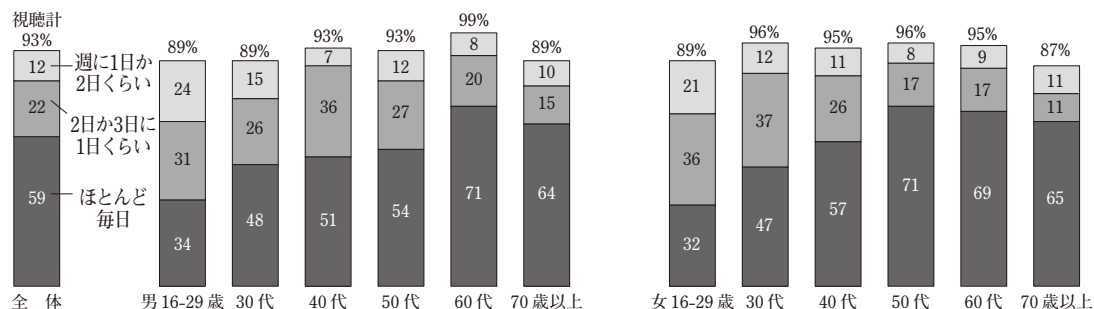


図2 北京中継の視聴頻度との比較(全体と男女年層別)



## (2) よく見られたテレビ中継

オリンピック中継を「見た」と回答した人に、どのメディアでオリンピック中継を見たり聴いたりしたか聞いた。結果は「NHK総合テレビ」(81%)、「民放テレビ」(68%)、「NHK Eテレ(教育テレビ)」(35%)、「NHKBS1」(33%)、「民放BSデジタル」(15%)などの順で見られており、テレビでの中継をあげる人が多かった(図3)。

また、「NHKのホームページの動画」や「民放のホームページの動画」についてはそれぞれ4%だった。

ちなみに、オリンピック中継を少しでも見聞き

図3 オリンピック中継 少しでも見聞きしたメディア

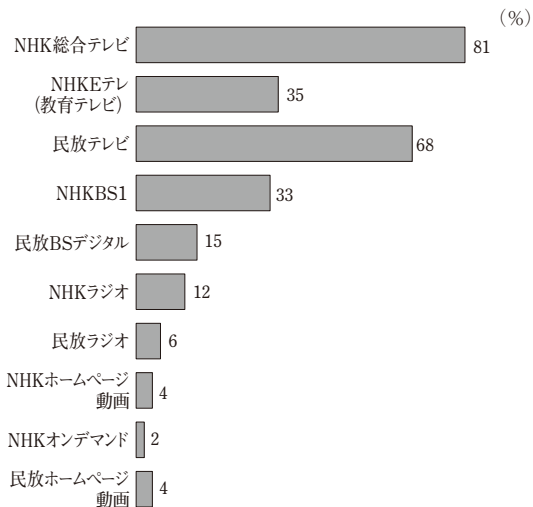
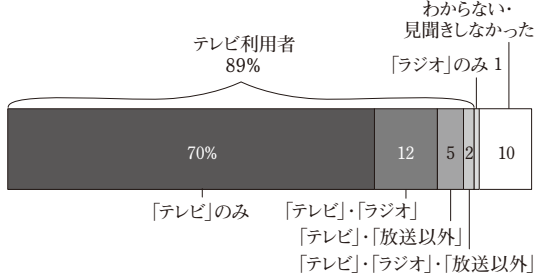


図4 オリンピック中継 少しでも見聞きしたメディア (接触メディアの組み合わせ)



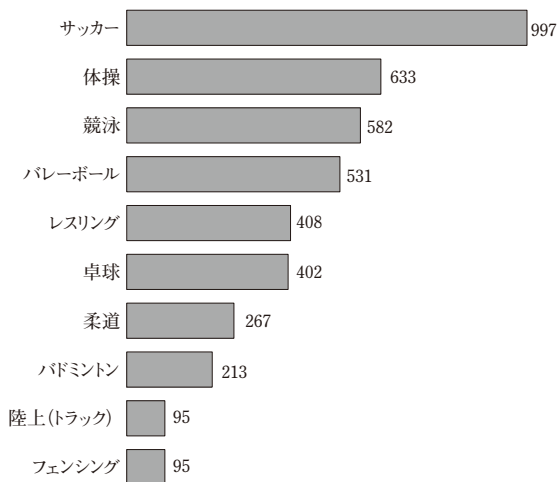
したメディアについて「テレビ」、「ラジオ」、「放送以外」(NHKホームページ動画, NHKオンデマンド, 民放ホームページ動画)にわけて接触メディアの組み合わせをみたところ、「テレビのみ」という人が70%で、ラジオや放送以外との組み合わせもあわせた「テレビ利用者」は89%と圧倒的だった(図4)。

## (3) 印象に残った競技は「サッカー」

ロンドンオリンピックで日本は史上最多の合計38個のメダルを獲得した。テレビやラジオの中継でも連日、多くのメダル獲得の瞬間を放送してきたが、印象に残った競技について自由回答で答えてもらったところ、最も多かったのは「サッカー」(997件)だった(図5)。なお、「サッカー」と回答した人の中で521件が特に「女子サッカー」をあげていた。

ロンドンオリンピックでは、女子サッカーが史上初の決勝、男子が準決勝に進出したことや、オリンピックの前年に開催されたFIFA女子ワールドカップドイツ2011における女子サッ

図5 印象に残った上位10競技(自由回答・複数回答) (件数)



カーの日本代表の活躍により、事前の注目度合が高かったことなどが要因の1つとして考えられる。

実際に、ビデオリサーチ社の関東地区の世帯視聴率によると、「サッカー・女子・予選 日本対スウェーデン」(NHK総合 7/28 30.8%), 「サッカー・女子・決勝 日本対アメリカ」(NHK総合 8/10 29.1%), 「サッカー・男子・予選リーグ 後半 日本対スペイン」(NHK総合 7/26 26.0%), 「サッカー・男子・準々決勝 日本×エジプト」(日本テレビ8/4 23.9%) などサッカー中継の世帯視聴率は、注目度の高かった「陸上・女子マラソン」(フジテレビ 8/5 22.5%) や「バレーボール・3位決定戦・女子・日本×韓国」(フジテレビ 8/11 21.7%) など他の競技と比較しても高かった。

#### (4) 番組情報入手経路として伸びる「EPG」

では、視聴者はオリンピックの放送予定などをどのように確認していたのだろうか。オリンピックの番組情報の入手媒体を聞いたとこ

ろ、「新聞のテレビ・ラジオ欄」が62%と最も高く、次いで「テレビ・ラジオの番組のお知らせ」(48%), 「テレビ・ラジオのオリンピック特集番組」(29%) の順となっている(図6)。

北京オリンピックのときと比較してみると、「新聞のテレビ・ラジオ欄」が72%から62%へ減少し、「EPG(テレビの電子番組表)」は逆に10%から24%へ増加している。

EPGについては、地上デジタル放送への移行が完了し、その機能が一般に普及し、広く使用され始めたことをうかがわせる結果である。

男女年層別でみると(表2), 「新聞のテレビ・ラジオ欄」はどの層でも高いが、男70歳以上、女50代以上で特に高い。

一方、「EPG(テレビの電子番組表)」は男50代以下、女40代以下で高い。特に男30代についてみると、EPGは番組情報の入手媒体として他の選択肢と比べ最も高かった。また、女30代では、「新聞のテレビ・ラジオ欄」, 「テレビ・ラジオの番組のお知らせ」「EPG(テレビの電子番組表)」がほぼ同じくらい多かった。

図6 オリンピック番組情報入手媒体 (%)

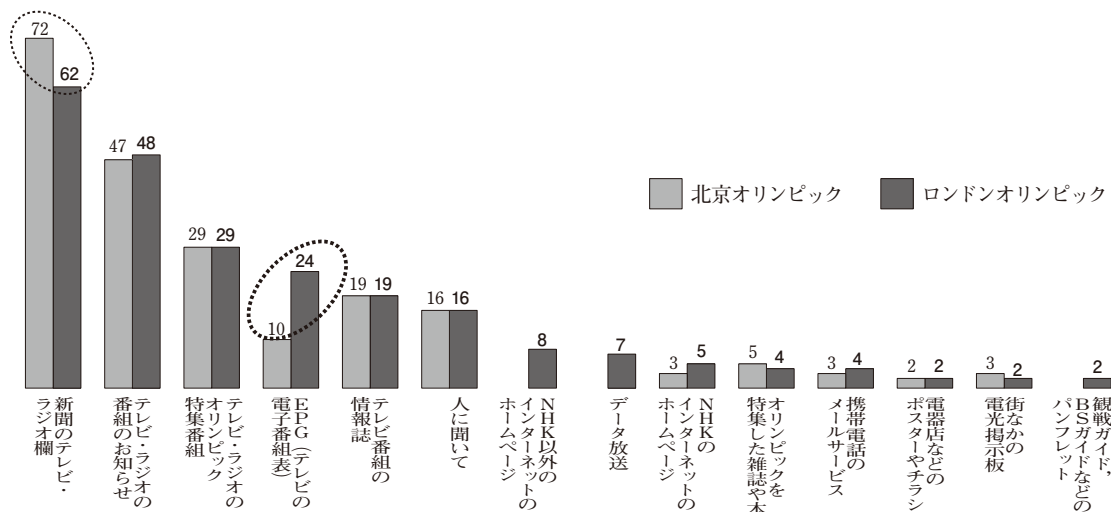


表2 男女年層別 番組情報の入手媒体

	全体 (%)	男	女	男							女						
				16-29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上	16-29歳	30代	40代	50代	60代	70歳以上		
新聞のテレビ・ラジオ欄	62	61	63	57	40	53	63	68	74	42	44	59	71	73	71		
テレビ・ラジオの番組のお知らせ	48	45	50	53	43	47	47	46	46	57	44	50	51	55	54		
テレビ・ラジオのオリンピック特集番組	29	26	31	36	26	25	29	25	24	43	24	34	33	33	30		
EPG (テレビの電子番組表)	24	27	21	45	47	42	32	17	13	36	43	38	29	14	8		
テレビ番組の情報誌	19	15	22	16	14	12	16	18	16	25	18	8	24	26	28		
人に聞いて	16	15	16	45	25	22	13	8	6	43	29	22	18	10	11		
NHK以外のインターネットのホームページ	8	10	6	16	30	16	13	4	3	17	19	15	5	2	1		
データ放送	7	8	7	16	12	12	12	4	3	9	15	12	11	4	3		
NHKのインターネットのホームページ	5	5	4	10	12	6	5	4	4	8	7	7	3	3	3		
オリンピックを特集した雑誌や本	4	4	3	12	4	3	5	3	4	4	3	4	1	4	3		
携帯電話のメールサービス	4	3	4	3	6	4	6	1	3	9	6	5	5	2	2		
電器店などのポスターやチラシ	2	2	3	2	2	1	1	1	4	4	2	3	1	1	5		
街なかの電光掲示板	2	2	2	5	6	3	2	1	1	9	3	1	2	2	2		
観戦ガイド、BSガイドなどのパンフレット	2	2	2	2	1	0	2	1	3	2	1	3	1	2	2		

■は全体に比べ有意に高い層

男女16-29歳については、他の年層と比較して「人に聞いて」という回答が非常に多かった。この理由を考えると、直接人に聞くということはもちろん、メールやソーシャルメディアなどを通じての情報入手も含んでいるのではないだろうかと思われる。

(5) 動画配信の視聴状況について

テレビ以外にライブストリーミングやインターネットの動画を見たかどうかをたずねたところ、8%が「ある」と回答した。

そこで、具体的に見た競技を自由回答で答えてもらったところ、ライブストリーミング、インターネットの動画配信で最も見られていたのは、印象に残った競技同様、サッカー(32件)競泳(20件)、体操(17件)などだった(表3)。

一方で、そもそもライブストリーミングはNHK、民放ともに放送しない競技を対象に実施している。したがって、ライブストリーミングの利用数とテレビの中継とをそのまま比較できるものではないことを付け加えておきたい。

表3 ライブストリーミング、インターネット動画で視聴した競技

競技名 (自由回答・複数回答)	(件数)
サッカー	32
競泳	20
体操	17
バレーボール	13
バドミントン	9
陸上(トラック)	9
テニス	5
卓球	5
新体操	3
マラソン	2

(6) オリンピックの放送について

今回のオリンピック放送全体についてどう感じたかについては、「競技のハイライトが見やすい時間に放送されたのでよかった」(70%)や「ニュースやハイライト放送で、感動の場面を何回も見ることができて、よかった」(70%)、「放送予定を柔軟に変更して、日本人選手の活躍をクローズアップしていて、よかった」(69%)など好評意見が多かった一方で、多数派ではないものの「競技の放送予定の変更がわかり

図7 オリンピック放送への感想 (%)

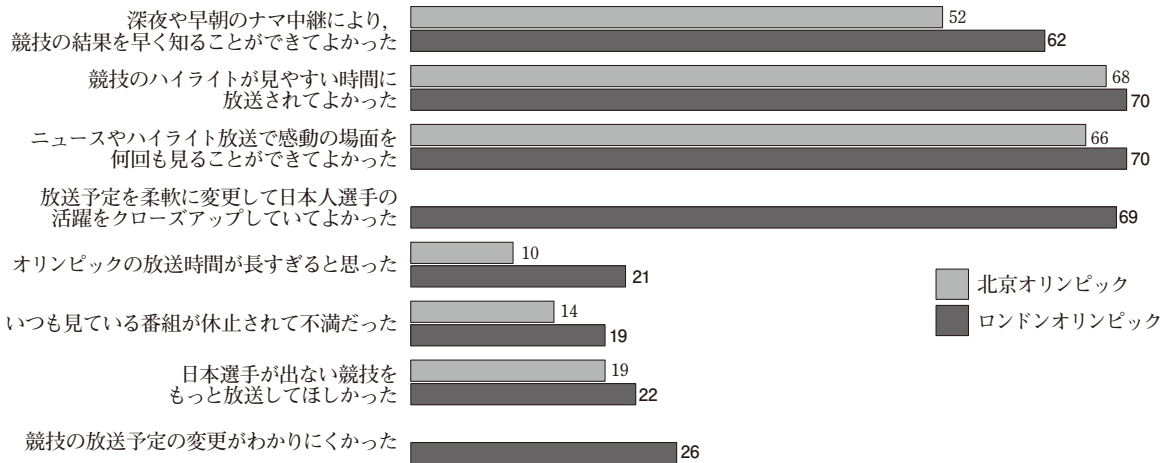


表4 オリンピック放送への感想(男女年層別)

感想 (%)	全体	男	女	男						女					
				16-29歳	30代	40代	50代	60代	70歳~	16-29歳	30代	40代	50代	60代	70歳~
深夜や早朝のナマ中継により、競技の結果を早く知ることができてよかった	62	61	64	67	60	60	66	60	65	74	67	70	74	66	59
競技のハイライトが見やすい時間に放送されてよかった	70	67	72	81	64	62	78	70	67	74	77	79	78	78	70
ニュースやハイライト放送で感動の場面を何回も見ることができてよかった	70	66	74	72	63	62	76	70	69	77	72	74	77	81	76
放送予定を柔軟に変更して日本人選手の活躍をクローズアップしていたよかった	69	66	72	78	57	66	73	72	66	77	73	77	80	75	73
オリンピックの放送時間が長すぎると思った	21	22	20	22	13	22	22	22	28	25	15	24	24	21	22
いつも見ている番組が休止されて不満だった	19	18	20	19	11	13	22	19	22	19	14	19	16	22	27
日本選手が出ない競技をもっと放送してほしいかった	22	28	17	55	34	29	36	24	20	26	30	23	17	15	12
競技の放送予定の変更がわかりにくかった	26	28	25	41	18	35	31	24	30	21	22	24	27	22	31

にくかった」(26%)、「オリンピックの放送時間が長すぎると思った」(21%)など不評意見もみられた(図7)。

以上のように、ロンドンオリンピックの放送の見られ方についてみてきたが、視聴者が「放送」に接する割合が依然として高いことがわかった。それでは、インターネットと放送の間にはどのような関係性がみられるのだろうか。

## 2. オリンピックにおけるテレビとネットの関係性について

ここからは電話世論調査に付随して実施したウェブ調査の結果から、オリンピックでテレビとネットが果たした役割についてみていく。

### (1) テレビで中継を

ロンドンオリンピックを見聞きする際については、多くの人の間でテレビが利用されたというこ



とは先にも紹介したとおりである。

インターネット利用可能者に対し実施したアンケートでも、「テレビのみ」という人は3割であったものの「テレビもネットも利用した」という人が5割を超え、テレビ利用者が9割近いことは同様であった。このように人々が今回のオリンピック中継を見聞きたメディアとしては、「テレビ」が圧倒的であった。しかも年代による差はほとんどみられない。この結果や、電話世論調査の「深夜や早朝のナマ中継により、競技の結果を早く知ることができて、よかった」という人が北京オリンピック時の52%から62%へと増加していること、などをあわせて考えると、少なくとも現在のメディア環境においては、オリンピックは「中継」という放送の強みが魅力として感じられるコンテンツであったととらえてよさそうである。

## (2) ネットによるテレビへの視聴誘導も

それでは、インターネットはどのように活用されたのであろうか。

オリンピック期間中のインターネットの利用法をウェブ調査でたずねたところ、「インターネットのニュースサイトの競技速報を見て、テレビを見た」「インターネットで番組の放送予定を調べて、テレビを見た」という人は、テレビもインターネットも利用してオリンピック中継を見聞きた人の中では4割を超えた。また「インターネットで、競技の結果や出場選手の情報を見ながら、中継をテレビで見た」人は3割近い。

オリンピック期間中のネット活用法としては、放送予定や競技予定を確認してテレビを見た、といった流れがみえており、ネットはテレビ視聴への誘導の役割を果たしていたようである。

ほかに「TwitterやFacebookなどSNSでの

書き込みを見ながら、中継をテレビで見た」という人もテレビ、ネット利用者の間では1割を超えている。新しい楽しみ方の萌芽がみられる結果である。

## おわりに

ロンドンオリンピックの調査からみてとれる現段階の視聴者のメディア利用動向としては、テレビ利用が圧倒的で、ネットはテレビへの誘導、といった役割分担があったと考えられる。そのうえで、今回の調査結果からみえてくることを最後にまとめておく。

オリンピック中継のような流動的な要素が多い放送の場合、選手の活躍如何により、柔軟に編成を変えていく必要性が起きうる。そのような対応をするときは、放送での告知は当然として、その時点でのメディア環境、現時点でいえばEPG、データ放送やインターネットのサイトなどを活用し、同時に知らせていくことの重要性、すなわち時代に合わせた視聴者サービスの充実が改めて重要となる。

現在もその努力は重ねられているが、時代とともに視聴者のおかれているメディア環境にあわせたサービスを考えることが、これから公共放送の大きな役割の1つとなるであろうと改めて認識している。

(ふかだ こうじ)

## 注：

- 1) 諸藤絵美「浸透するタイムシフト視聴の現在～「メディア利用の生活時間調査」から①～」『放送研究と調査』2012年10月号 P.13
- 2) 調査概要は以下のとおり  
調査期間：2012年8月13日～8月16日  
調査対象：外部調査会社ウェブ調査パネル  
調査相手：関東（1都6県）16～60代男女  
3,194人  
有効回答者数（率）：2,627人（82.2%）

「ロンドンオリンピックに関する電話世論調査」  
単純集計結果

1. 調査目的

人びとがロンドンオリンピックを視聴する際にテレビやインターネットをどのように利用し、視聴したか把握する。

2. 調査時期

2012年8月12日(日)～8月15日(水)

3. 調査方法

電話法(RDD追跡法)

4. 調査相手

全国の16歳以上の男女3,090人

5. 調査回答数(率)

1,964人(63.6%)

- 8. NHKのホームページの動画……………0.1
- 9. NHK オンデマンド……………0.0
- 10. 民放のホームページの動画……………0.4
- 11. わからない・無回答……………5.1
- 12. 非該当……………7.0

—ナマか録画か—

問4 [問1で「オリンピック中継を見た(1～3)」と答えた人]には、あなたは、オリンピックのテレビ中継をナマで見るが多かったですか、それとも、午前中のハイライトなど、録画放送を見るが多かったですか。

- 1. ナマ中継を見ることのほうが多かった……………23.0%
- 2. ナマ中継と録画放送を、同じくらい見た……………30.2
- 3. 録画放送を見ることのほうが多かった……………37.2
- 4. テレビ中継は見えていない、わからない・無回答……………2.6
- 5. 非該当……………7.0

—注目試合の視聴状況—

問5 [問1で「オリンピック中継を見た(1～3)」と答えた人]には、あなたは、次に読み上げるオリンピックの中継をニュースや情報番組以外でテレビでご覧になりましたか。

A 開会式をご覧になりましたか。

- 1. 見た……………56.2%
- 2. 見なかった……………35.2
- 3. わからない・無回答……………1.6
- 4. 非該当……………7.0

(SQ1) [Aで「1 見た」と答えた人]

どのチャンネルでご覧になりましたか。次に読み上げる中から1つお答えください。

- 1. NHK総合テレビ……………43.0%
- 2. NHKBS1……………2.9
- 3. 民放テレビ……………4.3
- 4. インターネットの動画……………0.2
- 5. 自分で録画して後で見た……………1.2
- 6. 覚えていない、わからない・無回答……………4.7
- 7. 非該当……………43.8

B 7月30日(月)深夜の体操男子団体決勝の中継をご覧になりましたか。

- 1. 見た……………35.6%
- 2. 見なかった……………54.6
- 3. わからない・無回答……………2.7
- 4. 非該当……………7.0

(SQ1) [Bで「1 見た」と答えた人]

どのチャンネルでご覧になりましたか。次に読み上げる中から1つお答えください。

- 1. NHK総合テレビ……………21.9%
- 2. NHKBS1……………2.1
- 3. 民放テレビ……………3.3
- 4. インターネットの動画……………0.1
- 5. 自分で録画して後で見た……………1.1
- 6. 覚えていない、わからない・無回答……………7.1
- 7. 非該当……………64.4

C 北島康介選手が出場した8月1日(水)深夜の競泳男子200メートル平泳ぎの中継をご覧になりましたか。

—オリンピック中継視聴頻度—

問1 あなたはテレビやラジオ、インターネットでロンドンオリンピックの中継をどのくらい見たり聴いたりしましたか。ニュースで見た場合を除いて、次に読み上げる中からあてはまるものを1つ選んでください。

- 1. ほとんど毎日見るか聴くかした……………63.3%
- 2. 2日か3日に1日くらい見るか聴くかした……………18.2
- 3. 週に1日か2日くらい見るか聴くかした……………11.5
- 4. まったく見聴きしなかった……………6.2
- 5. わからない・無回答……………0.8

—オリンピック中継視聴メディア—

問2 [問1で「オリンピック中継を見た(1～3)」と答えた人]には、あなたはどのチャンネルでオリンピック中継を見たり聴いたりしましたか。次に読み上げるそれぞれについて、ニュースを別に、少しでも見聴きした場合は「はい」、していない場合は「いいえ」でお答えください。

- 1. NHK総合テレビ……………80.7%
- 2. NHK Eテレ(教育テレビ)……………34.7
- 3. 民放テレビ……………67.9
- 4. NHKBS1……………33.1
- 5. 民放のBSデジタル放送……………15.0
- 6. NHKラジオ……………12.3
- 7. 民放ラジオ……………6.2
- 8. NHKのホームページの動画……………4.2
- 9. NHK オンデマンド……………1.6
- 10. 民放のホームページの動画……………3.8
- 11. わからない・無回答……………3.2
- 12. 非該当……………7.0

—最も視聴したメディア—

問3 [問1で「オリンピック中継を見た(1～3)」と答えた人]には、あなたが最も多く見たり聴いたりしたチャンネルはどこでしたか。次に読み上げる中から1つ選んでください。

- 1. NHK総合テレビ……………59.6%
- 2. NHK Eテレ(教育テレビ)……………1.3
- 3. 民放テレビ……………17.8
- 4. NHKBS1……………6.4
- 5. 民放のBSデジタル放送……………0.8
- 6. NHKラジオ……………1.2
- 7. 民放ラジオ……………0.3



1. 見た ..... 31.1 %
2. 見なかった ..... 59.1
3. わからない・無回答 ..... 2.8
4. 非該当 ..... 7.0

(SQ1) [Cで「1 見た」と答えた人に]

どのチャンネルでご覧になりましたか。次に読み上げる中から1つお答えください。

1. NHK総合テレビ ..... 16.5 %
2. NHKBS1 ..... 1.6
3. 民放テレビ ..... 4.2
4. インターネットの動画 ..... 0.1
5. 自分で録画して後で見た ..... 1.7
6. 覚えていない、わからない・無回答 ..... 7.0
7. 非該当 ..... 68.9

D 8月4日(土)の女子トライアスロンの中継をご覧になりましたか。

1. 見た ..... 13.6 %
2. 見なかった ..... 76.6
3. わからない・無回答 ..... 2.7
4. 非該当 ..... 7.0

(SQ1) [Dで「1 見た」と答えた人に]

どのチャンネルでご覧になりましたか。次に読み上げる中から1つお答えください。

1. NHK総合テレビ ..... 7.2 %
2. NHKBS1 ..... 1.4
3. 民放テレビ ..... 1.4
4. インターネットの動画 ..... 0.1
5. 自分で録画して後で見た ..... 0.2
6. 覚えていない、わからない・無回答 ..... 3.4
7. 非該当 ..... 86.4

E 8月4日(土)のバドミントン女子ダブルス決勝の中継をご覧になりましたか。

1. 見た ..... 41.1 %
2. 見なかった ..... 48.9
3. わからない・無回答 ..... 3.0
4. 非該当 ..... 7.0

(SQ1) [Eで「1 見た」と答えた人に]

どのチャンネルでご覧になりましたか。次に読み上げる中から1つお答えください。

1. NHK総合テレビ ..... 22.8 %
2. NHKBS1 ..... 3.0
3. 民放テレビ ..... 4.8
4. インターネットの動画 ..... 0.3
5. 自分で録画して後で見た ..... 1.0
6. 覚えていない、わからない・無回答 ..... 9.2
7. 非該当 ..... 58.9

F 8月9日(木)深夜のサッカー女子決勝「日本」対「アメリカ」の中継をご覧になりましたか。

1. 見た ..... 46.7 %
2. 見なかった ..... 43.8
3. わからない・無回答 ..... 2.4
4. 非該当 ..... 7.0

(SQ1) [Fで「1 見た」と答えた人に]

どのチャンネルでご覧になりましたか。次に読み上げる中から1つお答えください。

1. NHK総合テレビ ..... 25.1 %
2. NHKBS1 ..... 3.3
3. 民放テレビ ..... 7.5
4. インターネットの動画 ..... 0.1
5. 自分で録画して後で見た ..... 1.9
6. 覚えていない、わからない・無回答 ..... 8.9
7. 非該当 ..... 53.3

ーオリンピック番組情報入手媒体ー

問6 [問1で「オリンピック中継を見た(1~3)」と答えた人に]

あなたはオリンピックの放送予定などの番組情報を何から知りましたか。これから読み上げるものについて、それぞれ「はい」「いいえ」でお答えください。

1. 新聞のテレビ・ラジオ欄 ..... 62.2 %
2. テレビ番組の情報誌 ..... 19.2
3. オリンピックを特集した雑誌や本 ..... 3.6
4. テレビ・ラジオの番組のお知らせ ..... 48.0
5. テレビ・ラジオのオリンピック特集番組 ..... 28.5
6. EPG(テレビの電子番組表) ..... 23.7
7. データ放送 ..... 7.4
8. 電器店などのポスターやチラシ ..... 2.3
9. 街なかの電光掲示板 ..... 2.3
10. 観戦ガイド、BSガイドなどのパンフレット ..... 1.6
11. NHKのインターネットのホームページ ..... 4.6
12. NHK以外のインターネットのホームページ ..... 8.0
13. 携帯電話のメールサービス ..... 3.5
14. 人に聞いて ..... 15.5
15. どれもあてはまらない、わからない・無回答 ..... 6.1
16. 非該当 ..... 7.0

ーオリンピック放送への感想ー

問7 [問1で「オリンピック中継を見た(1~3)」と答えた人に]

オリンピック放送について、あなたは次のようなことを感じましたか。これから読み上げるものについて「はい」「いいえ」でお答えください。

1. 深夜や早朝のナマ中継により、競技の結果を早く知ることができて、よかった ..... 62.2 %
2. 競技のハイライトが見やすい時間に放送されたのでよかった ..... 69.9
3. ニュースやハイライト放送で、感動の場面を何回も見ることができて、よかった ..... 70.4
4. 放送予定を柔軟に変更して、日本人選手の活躍をクローズアップしていて、よかった ..... 69.3
5. オリンピックの放送時間が長すぎと思った ..... 20.9
6. いつも見ている番組が休止されて不満だった ..... 19.0
7. 日本選手が出ない競技をもっと放送してほしい ..... 21.6
8. 競技の放送予定の変更がわかりにくかった ..... 26.0
9. その他 ..... 0.9
10. わからない・無回答 ..... 4.8
11. 非該当 ..... 7.0

ー印象に残った競技種目ー

問8 今回のロンドンオリンピックで特に印象に残った競技種目がありましたか。

1. ある ..... 81.4 %

- 2. 特にない ..... 12.5
- 3. わからない・無回答 ..... 6.1

(SQ) その競技種目は何ですか。いくつでも自由にあげてください。

(自由回答)

—結果省略—

—印象に残った選手—

問9 では、特に印象に残った選手はいましたか。

- 1. いる ..... 65.8 %
- 2. 特にない ..... 23.2
- 3. わからない・無回答 ..... 11.0

(SQ) 何という種目の、何という選手ですか。何人でもあげてください。

(自由回答)

—結果省略—

—テレビ中継以外でのオリンピック視聴—

問10 今回のロンドンオリンピックについて、テレビ以外にネットの中継（ライブストリーミング）やインターネットの動画配信を見ましたか？

- 1. 頻繁に見た ..... 2.4 %
- 2. 1, 2 回見た ..... 5.6
- 3. 見なかった ..... 85.2
- 4. わからない・無回答 ..... 6.8

(SQ) その競技種目は何ですか。いくつでも自由にあげてください。

(自由回答)

—結果省略—

—オリンピック全体的な感想—

問11 ではロンドンオリンピックについての全体的な感想はいかがですか。次に読み上げる中からあてはまるものを1つ選んでください。

- 1. 非常に楽しかった ..... 46.7 %
- 2. まあ楽しかった ..... 40.6
- 3. あまりおもしろくなかった ..... 4.5
- 4. まったくおもしろくなかった ..... 1.3
- 5. わからない・無回答 ..... 7.0

—スポーツイベント放送への感想—

問12 今回に限らずに、オリンピックやワールドカップのような大きなスポーツイベントのテレビ放送についていかがですか。あなたはこのような大きなスポーツイベントのテレビ放送について次のようなことを感じますか。これから読み上げるものについて、「はい」「いいえ」でお答えください。

- 1. ふだんよりテレビを見る時間が長くなる ..... 70.5 %
- 2. みんなが見ていることで、国民の気持ちがひとつになるような気がする ..... 69.1
- 3. 家族や友人との話題が盛り上がる ..... 72.8
- 4. 日本選手を応援すると、自分が日本人であることを意識する ..... 74.3
- 5. わからない・無回答 ..... 8.8

—NHKのオリンピック放送への評価—

問13 NHKはオリンピック期間中、テレビやラジオで競技中継を多く放送するとともに、ニュースなどでもオリンピックに関する情報を幅広く取り上げました。このNHKの対応について、あなたはどのように思いましたか。1つお答えください。

- 1. よかったと思う ..... 52.9 %
- 2. まあよかったと思う ..... 24.9
- 3. どちらともいえない ..... 12.5
- 4. あまりよかったとは思わない ..... 1.9
- 5. よかったとは思わない ..... 1.0
- 6. わからない・無回答 ..... 6.8

—BS視聴可能か—

問14 お宅では衛星放送（BS）を見ることができますか。

- 1. 見ることができる ..... 53.6 %
- 2. 見ることができない ..... 39.9
- 3. わからない・無回答 ..... 6.5

(SQ) [問14で「1 見ることができる」と答えた人に]

ロンドンオリンピック以前からBSデジタル放送をご覧になりましたか。

次に読み上げる中からあてはまるものを1つ選んでください。

- 1. ロンドンオリンピック以前からBSデジタル放送を見ている ..... 50.7 %
- 2. ロンドンオリンピックをきっかけに、新たに衛星放送を受信できるようにした ..... 1.5
- 3. わからない・無回答 ..... 1.4
- 4. 非該当 ..... 46.4

—性—

問15 (省略)

—年齢—

問16 (省略)